



2022年5月13日

各 位

会社名 株式会社 銀座ルノアール
代表者名 代表取締役社長 小宮山 誠
(コード:9853 東証スタンダード)
問い合わせ先 管理本部長兼財務部長 森田 正一
(TEL 03-5342-0881)

通期業績予想値と実績値との差異並びに特別損失の計上及び 繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

2022年2月22日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、連結業績において下記のとおり特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しをいたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期業績予想値と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2022年2月22日）	百万円 4,671	百万円 △1,044	百万円 120	百万円 702	円銭 115.06
実績値（B）	4,557	△1,237	△45	347	56.87
増減額（B－A）	△114	△193	△165	△355	
増減率（%）	△2.4	－	－	△50.6	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期通期）	4,173	△1,960	△1,927	△2,368	△387.70

差異理由

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、新型コロナウイルスの新たな変異株の感染拡大による影響が想定より長期に渡り、来店客数の回復が想定を下回ったことによるものです。また、固定資産の譲渡による特別利益の計上があったものの、後述のとおり特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しをいたしましたため、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、予想を大きく下回る結果となりました。

2. 特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しについて

当社が賃借する店舗の一部の固定資産について、収益性の低下による減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、減損損失142百万円を特別損失として計上いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を慎重に検討いたしました結果、当期末において繰延税金資産の取崩し、法人税等調整額を34百万円計上いたしました。

以 上